

教育分野のジェンダーギャップ解消に向けて —意識の壁・制度の壁を概観して考える—

日本のジェンダーギャップ指数が政治・経済分野で著しく低いことはかねてより大きな課題となっていますが、そういった分野でジェンダーに関わらず力を発揮するための土台として、教育分野でのジェンダーギャップ解消は非常に重要です。

#YourChoiceProject は、教育分野のジェンダーギャップ解消に向けて、様々な調査や政策提言に取り組んでいます。とくに、地方の女子学生は大学進学の見込みが狭められやすいことに着目し、その原因として無意識の思い込みや偏見があること等を、昨年度実施した地方高校生や保護者等への調査で明らかにしました。この調査を含めて、進路選択上のジェンダーギャップとして今まで明らかになっているデータや情報を、包括的にまとめ、「進路選択上のジェンダーギャップ白書」を作成しました。この白書を本人や保護者、教育・行政関係者、地域住民と共有し、施策の提言等に生かそうとしています。

本企画では、その白書を基に、進路選択におけるジェンダーギャップの解消に向けて、共に考え、自身を振り返るなかで気づきがあれば幸いです。様々な境遇の学生が自由に才能を見出し伸ばせる社会を願って。

■ゲスト：長尾すみれさん *基調講演



#YourChoiceProject リサーチ班責任者。東京大学法学部4年生。札幌南高校出身。自らも地方出身のバックグラウンドを持つ。東大入学後、その同質的な環境や日本社会全体のジェンダー格差に違和感を覚え、法律や福祉政策、ジェンダー論に興味を持つ。同学のシンポジウムへの登壇や、白書の作成を通じて進路選択上のジェンダーギャップへの理解と問題の解決を訴え活動している。

武功翼さん



#YourChoiceProject メンタリングコミュニティ運営班、Web記事作成班。東京大学理科一類2年生。早稲田高校卒業。首都圏の進学校出身だが、地方に行くと「女子だから」というだけで東大に行かせてもらえないことがあると知り衝撃を受けた経験から、この格差を是正する取り組みを始める。高校生を相手に進学に関する情報を提供する活動や、進学の男女格差に関する意見を記事にする活動のほか、外部の所属団体でこの問題をスピーチにして発信もしている。

鈴木貫司さん *コメントータ



NPO法人わかものまち。常葉大学教育学部卒。2018年からJICA海外協力隊として南米エクアドルの市役所にて青少年分野で活動。帰国後は、小学校教諭として勤務。現在は静岡県菊川市の市民協働センター勤務。地域コーディネーターとして、市民参加の場づくりや中高大生を中心とした若者のまちづくりへの参画をサポートしている。

■日時：2024年6月8日(土) 13:30~16:00

■会場：オンライン開催

※オンライン会議システム・Zoomを使用。スマホやPC等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に開催前日までにメールいたします。聞かだけの参加も可能ですが、この対話の場を一緒につくれるよう、お声を出していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、ご発言の際は自主的にお顔を写していただけます。

■参加費：無料

※先着50名様。申込の締め切りは24年6月6日または定員に達した時点の早い方。

■主催：NPO法人まちぼと ソーシャル・ジャスティス基金 <https://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20240608.html> ※事前にご登録ください。